

初めて出会う、 国産材「アサダ」

採取量が限られるため、これまで家具材としてはあまり用いられてこなかった“アサダ”。手に吸いつくような滑らかで繊細な木肌は、まさに家具にふさわしい魅力を秘めています。椅子の座面には張り替え可能なペーパーコードを使用。アサダ材の独特な木目と、ペーパーコードの繊りなす陰影を引き立てるために、形状はあえて極限までシンプルに仕上げました。^{シラサギ}白鷺〈Egret〉のように軽やかで、静かな存在感を放つシリーズです。



緻密な木肌と温かな色合いが魅力のアサダ材。滑らかな手触りは、いつまでも触れていなくなる心地よさです。サイズは、現代の住空間に合わせた直径100cm。脚部のネジを含め木組みで仕上げた、オークヴィレッジの組み立て式ダイニングテーブルです。

Egret丸テーブル

¥242,000 (税込)

サイズ: 直径100×高さ70cm

樹種: 国産アサダ

仕上げ: 植物性オイル (ナチュラル)



E g r e t

シラサギ
「白鷺(Egret)のような軽やかで美しい佇まい」をイメージしたペーパーコードチェア。無垢材・木組みの椅子でありながら約3.5kgの軽量設計で、日々の引いたり動かしたりの扱いやすさが特長です。

Egretチェア

¥88,000(税込)

仕上げ：植物性オイル（ナチュラル）

材 種：国産アサダ 座面：ペーパーコード

サイズ：幅45×奥行47×高さ74(座面の高さ42)cm



平織（鹿の子模様）の座面のペーパーコードは、湿気による伸びを抑制しつつ適度なテンションを維持し、座り心地よく臀部を支えます。



アサダ材の繊細な木目が、椅子全体のフォルムを引き立てます。背当ては曲木や削り出しで加工し、上半身を適切な姿勢で保持します。



チェアとテーブルで意匠をそろえた脚周り。直線的に伸びた脚は立ち木の姿を思わせると同時に空間をすっきりと見せます。



アサダとは

カバノキ科アサダ属に分類され、日本では北海道から九州まで広く分布しています。山中の日陰でもしっかり根を張って生きる強さ（耐陰性）をもって、じっくりと育つ木です。そこで備わった緻密な材質から、風や衝撃にも負けない強さを持つ、堅実に生きる強い木です。加工してみると、粘りがあって硬く、磨くと自然な艶が出てきます。芯材は灰紅褐色、辺材はほんのりピンクがかった灰乳白色。人肌のような柔らかい印象を受ける色合いです。木目もその成長ぶりから細かい傾向にあります。静かに堅実に育った木らしい、しっとりとした面持ちです。